

学年	高校3年	教科	理 科	科目	化学演習	単位数	5
教科書名	化学 (実教出版)			副教材名	実戦アクセス総合化学 (浜島書店)		
コース・クラス	特進理系						

I 目標

問題演習を中心とした授業により、大学入学共通テスト（80%到達）や国公立大学、難関理系大学への受験に対応できる思考力や応用力を身につける。

II 授業のねらい

- 1 炭水化物、タンパク質、脂質を分子レベルで学び、理解を深める。
- 2 身の回りにあふれている高分子化合物（プラスチック、ゴム）などの理解を深める。
- 3 繊維、色素、洗剤を分子レベルで理解を深める。
- 4 化学基礎、化学の内容を、問題演習を通して総復習し、大学入試に対応できる力を身につける。また、国公立大学、難関大学において必要な思考力、応用力を身につける。

III 授業の進め方

板書、問題演習を中心とする。また、実験を取り入れ、知識の定着をはかると共に、単元ごとに大学入試の過去問に触れ、応用力を養う。

IV 学習上の留意点

- 1 常に大学受験を意識し、問題集を中心とした復習を行うことが必要である。
- 2 常に身の回りの物質、現象を意識しながら学習を進める。これにより、幅広い知識の習得を心がける。

V 定期試験

出題範囲は授業の進捗状況に準じ、板書、実験、小テスト、問題集、大学入試の過去問を中心に出題する。

VI 評価の方法

提出物、実験、小テスト、定期試験を総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標		
一学期	4	有機化合物の特徴と構造 炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出物 ・ 小テスト ・ 実験 ・ 中間試験 ・ 期末試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有機化合物の質量分析ができる。 ・ 異性体を区別できる。 ・ 特定の官能基をもつ化合物の性質を正しく理解できる。 ・ 芳香族化合物の性質、合成法、用途を理解できる。 ・ 高分子化合物が身の回りに密接に関わっていることを理解できる。 ・ 全単元において、大学入試の過去問を解ける実力が身についている。 		
	5	酸素を含む有機化合物 芳香族化合物				
	6	有機化合物と人間生活 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活				
	7	問題演習				
	9	化学基礎、化学の総復習 大学入学共通テスト・大学入試対策			<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 実験 ・ 中間試験 ・ 学年末試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学基礎、化学の総復習を通して、大学入試対策に対応できる実力が身についている。 ・ 大学入学共通試験で、得点率 80% を獲得できる実力が身についている。 ・ 難関大学の入試に対応できる実力が身についている。
	10	大学入学共通テスト・大学入試対策				
	11	大学入学共通テスト・大学入試対策				
12	大学入学共通テスト・大学入試対策					

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。